

学校だより

心と知恵と技をとぐ
上峰っ子の育成

児童数 581 名

No. 6

強く 正しく 美しく

令和 7 年 5 月 3 0 日 文責 校長 林 寛



真ん中の言葉は、佐賀県教育の合言葉・スローガンとして県の教育委員会が広めているものです。佐賀県内の子供たちが成長していく過程で、その周りである家庭や地域、学校が、子供たちが挑戦できる様々な環境を作っていく中で、それを応援する方法の供たちは、小さなことでもほめられるこ(大人もですね)。そうすることで、自力をつける。また、夢に向かって自分うになることを目指しています。

ほめるから、
はじめる。
はじまる。

ひとつとして示されています。子
とで自己肯定感が高まります
分で考え、判断し、行動できる
らしく伸び伸びと挑戦していけるよ

「ほめる」ことは、子供の主体的な考えを尊重し、応援することへの第1歩だと思います。上峰小の子供たちは、大変素直で前向きな子供が多いです。それには、学年や学級の枠を超えて、先生たちが子供たちへの声掛けを積極的にしていることが一因にあるのではないかと思います。(「佐賀県子ども計画」を学校HPに掲載しています)

生活集会での話

6月に入ると、1学期も折り返しになります。少し疲れを訴えてくる子供たちも出始める時期です。26日(月)の生活集会で担当の先生から、「6月は1番トラブルが多い月です」という話がありました。梅雨になり、日光に当たる時間が減ると、「セロトニン」という物質が体内でできにくくなるのが原因の一つということです。先生は、セロトニンを自分たちで作り出す方法を子供たちに紹介していました。それは、「口に出す言葉や人から聞く言葉からも、セロトニンは出る」ということでした。さて、その言葉とは……？？？それは、「ほめ言葉」や「前向きな言葉」といった「ほかほか言葉」だそうです。上の「ほめるから、はじめる。……」にも結び付きませんが、気候的にも過ごしにくくなる6月を「ほかほか言葉」で乗り切りたいですね。大人も子供と同じですが、ほめられる機会は少なくなります。そんな時は、自分で自分をほめましょう㊦



(新)体力テスト

それまで実施されていたスポーツテストに代わって、1999年から始まった「新体力テスト」(もう「新」ではない気がします)を上峰小では5月22日(木)に実施しました。佐賀県内の学校では、この時期ほとんどの学校で実施されています。小学生と中学生では少しテストの項目が異なりますが、小学生は①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横跳び⑤20m シャトルラン⑥50m 走⑦

立ち幅跳び⑧ソフトボール投げの8つを1年生から継続して6年間の記録をとっています。22日は、比較的真涼しい中で②③④⑦⑧の5つのテストを実施しました。記録については、後日個別にお知らせします。



救命救急研修会

28日(水)の放課後、体育館で救命救急の講習を実施しました。西消防署から来ていただいた2名の救命士さんに、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法やAEDの扱い方について教えていただきました。上峰小には、事務室前と体育館の北東入り口にAEDを設置しています。万が一の時は、誰でも使うことができます。

学校HP

